2021/9/15(水曜日)

主題:一天の御国に向かって、成長する一

目標:一天の御国の約束を信じて、主イエスに従い続ける者となる一

キリスト伝

第二ガリラヤ伝道 ⑤

マタイの福音書 13:24~30

(p26)

「天国の7つのたとえ2」

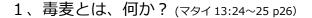
良い麦と毒麦

誰でも天国に入りたいと思っているが、全く天国について解らないのが人間の現実である。 しかし、神の御子主イエスは、天から来られ「天国とは何か?誰が、どのようにして入れるのか?」を、教えることができる唯一の方である。主イエスは人間には見えない霊的な世界を、 見える現実の物や出来事を持ち出して、私たちに説明して下さったのである。

「天国」「神の国」とは、「死んでから行く国」とか「この世にはないどこかにある国」という場所の事だけではない。多くの場合「天の神の支配される領域」「神の支配される国」という意味で用いられる。天国を支配される王である神が、生きている自分の心にも臨んで下さる。その延長線上に「天国」「神の国」がある。私たちが神の導きに心を開き、神のご支配に自分をゆだね、神に全く依り頼むとき、ご聖霊は私たちの心を開かれる。ご聖霊により神が解り、天国が解るのである。主イエスは「耳のある者は聞きなさい」と語りかけられる。あなたの心は神の前に開かれているだろうか。

[聖書の学び]

I、群衆に語られた、「毒麦のたとえ」



◎毒麦とは一種の雑草で、ある種の毒性がある。

発育の初期は大麦や小麦と殆ど見分けが付かない。毒麦は小麦の株の間に生える事が 多い。小麦は根が弱く、毒麦を引き抜くときに一緒に抜けてしまう危険性が多い。

- 2、当時の群衆にもよく分かる「毒麦のたとえ」(マタイ 13:24~30)
 - ①毒麦が敵によって蒔かれたとき、人々はどうしていましたか?(v25)
 - ②毒麦が、はっきり毒麦だと分かるのは、いつでしょうか?(v26)
 - ③敵はどうして毒麦を蒔いたと思いますか?
 - ・収穫を遅らせ、手間をかけさせ、その間に収穫を横取りする隙を狙う。
 - ・毒麦に気づかないで収穫させ、全部混じって食べられなくなるように仕向ける。
 - ・収穫が少なくなった国を笑いものにし、攻撃する。



Ⅱ、弟子に語られた、「毒麦のたとえ」(マタイ13:36~43)

- 1、天国のたとえとしての「毒麦のたとえ」
 - ①良い種を蒔かれ、後に御使いを遣わされ収穫されるのは、どなたでしょうか。 (v37) 人の子とは?
 - ②38、39節のみことばをよく見ましょう。
 - · 畑──→
 - 良い種─→
 - · 毒麦——→
 - · 敵——→
 - 収穫——→
 - ③世の終わりのとき、どのようになるのでしょうか?(マタイ 13:40~43、黙示 20:10、14、15)
- 2、愛なる神様の御計画について
 - ①どうして主は終わりのときまで、毒麦である不法を行う者を、良い者と混ざった まま成長させておかれるのでしょうか?
 - ・マタイ 18:14 ・・・ 間違って抜かれないように。--- さばきの時まで待つ。 (p37) 毒麦も変えられる可能性がある。
 - ・ローマ 5:2~5 ··· 敵が蒔いた毒麦が、試練として御国の子らに必要なことがある。 (p304)
 - ②良い麦と毒麦の成長した時の実の違いは、どのように解るのでしょうか。
 - v41···
 - v43···
 - ③弟子たちに主イエスが「耳のある者は聞きなさい」と警告された理由は何でしょうか。 (v37)
- * **ディスカッション** (心を開いて互いに話し合ってみましょう)
- Q. 今日学んだことについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。